

公共建築の日及び公共建築月間

行政、教育文化、福祉等様々な分野に係わる各種の公共建築は、地域の人々の生活に密接な係わりを持ち、地域の活性化、生活・文化水準の向上、街並み・景観の形成等を図るうえで重要な役割を果たしています。また、近年、地域との連携を図りながら、公共建築の整備や運営のあり方を考えるべきという機運が高まっています。このような状況を踏まえ、「公共建築の日」及び「公共建築月間」が創設されました。関係団体、関係省庁等が幅広く協力しつつ、また広く一般の方々にも関心を持っていただきながら、より一層国民生活に密着したより良い公共建築を目指していきたくと考えています。

参加
無料

講演会と見学会のご案内

官庁施設(公共建築)における防災・減災

講演会

▶ 阪神・淡路大震災から20年、公共建築の復興

講演者/京都市芸繊維大学 小坂 郁夫 教授

▶ 神戸地方合同庁舎の被災状況と免震改修

講演者/ ㈱フジタ 西日本支社 九州支店 大坪 裕和 工事長

日時 平成27年**11月24日(火)** 14:30~16:30

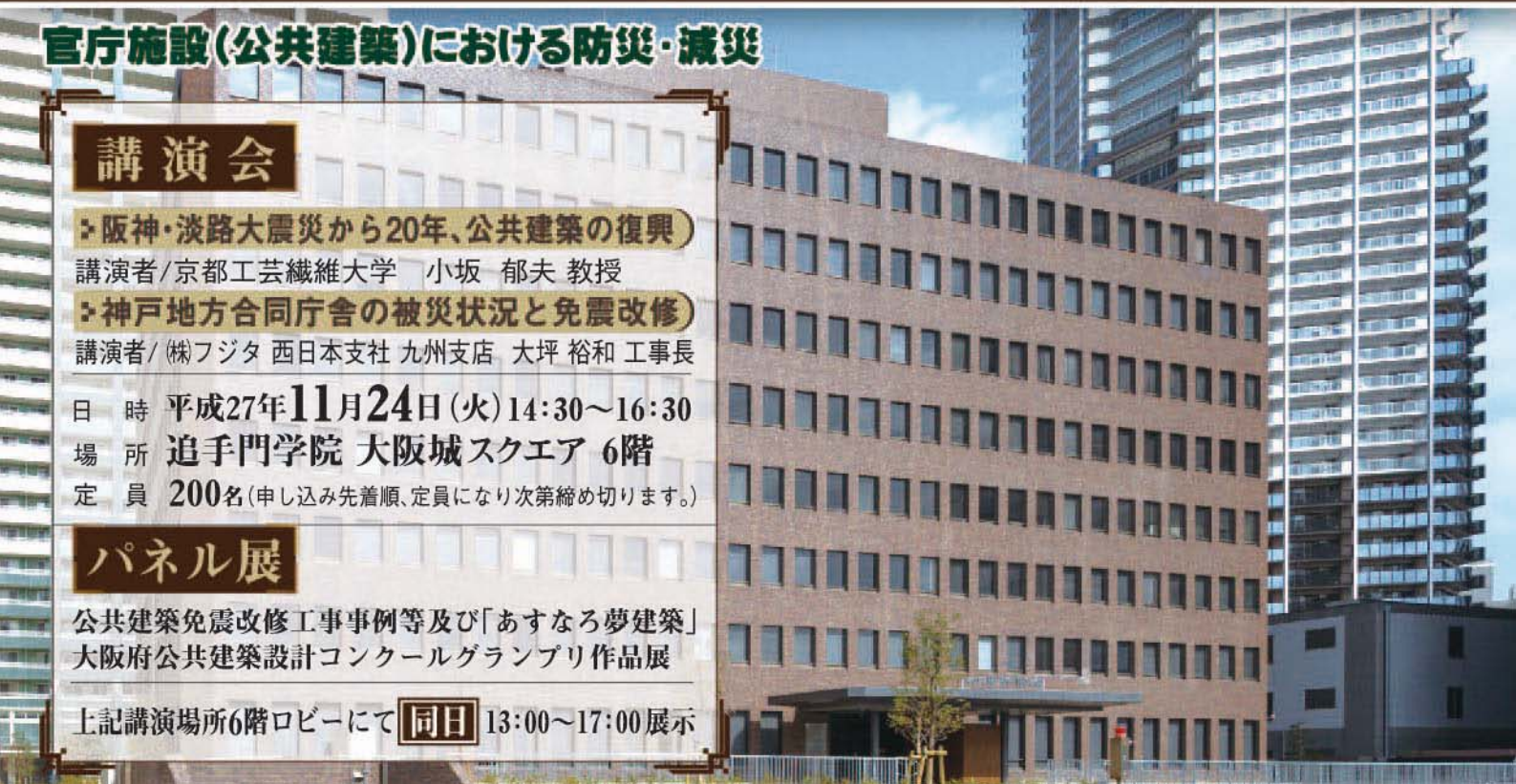
場所 **追手門学院 大阪城スクエア 6階**

定員 **200名**(申し込み先着順、定員になり次第締め切ります。)

パネル展

公共建築免震改修工事事例等及び「あすなる夢建築」
大阪府公共建築設計コンクールグランプリ作品展

上記講演場所6階ロビーにて **同日** 13:00~17:00 展示



▲神戸地方合同庁舎免震装置

公共建築のリニューアル

見学会

本を借りる、資料を調べるだけの従来の図書館から、
文化を創造・発信する図書館となることを目指しています。

日時 平成27年**12月15日(火)** 14:30~16:30

場所 **大阪府立中之島図書館**

定員 **40名**(申し込み先着順、定員になり次第締め切ります。)

受付 **14:00~14:30**

(集合場所 大阪府立中之島図書館 別館)



▲大阪府立中之島図書館
(撮影者//柄松写真事務所 柄松稔氏)

講演会 「阪神・淡路大震災から20年、公共建築の復興」

阪神淡路大震災から20年、節目の年に当時を振り返り、官庁施設(公共建築)の復興及びその後の他の地震での状況等を含めた今後の防災・減災の対応について考える

■ 基調講演

プロフィール

1975.03 京都大学工学部建築学科卒業
 1977.03 京都大学大学院工学系建築学専攻修士課程終了
 1993.04 京都工芸繊維大学 助教授
 2006.01 京都工芸繊維大学 教授
 現在に至る

◆資格◆

- ・一級建築士
- ・博士(工学)(京都大学)
- ・日本建築学会、理事 支部長(近畿)(2013.05~2015.05)
- ・日本建築学会、2014年度日本建築学会大会委員長(2013.10~2014.09)



京都工芸繊維大学
小坂 郁夫 教授

■ 事例紹介

「神戸地方合同庁舎の被災状況と免震改修」

プロフィール

2001.04
 株式会社フジタ入社入社後、
 緑井駅周辺地区第一種市街地再開発事業施設建築工事
 大分刑務所収容等(建築)工事
 熊本大学(医病)東病院新営工事建築主任
 祇園町再開発施設新築工事工事長等を担当
 2012.02~2015.01
 株式会社フジタ大阪支店 工事長
 神戸地方合同庁舎耐震改修工事で
 監理技術者として従事
 現在に至る



株式会社フジタ
西日本支社 九州支店
大坪 裕和 工事長

◆資格◆

- ・一級建築士
- ・一級建築施工管理技士
- ・免震部建築施工管理技術者

日時 平成27年11月24日(火) 14:30~16:30 (パネル展を併設)

場所 追手門学院 大阪城スクエア6階

定員 200名(申し込み先着順、定員になり次第締め切ります。)

パネル展

公共建築免震改修工事事例等及び「あすなる夢建築」
 大阪府公共建築設計コンクールグランプリ作品展

平成27年11月24日(火) 13:00~17:00(講演会と同日)

見学会

大阪府立中之島図書館

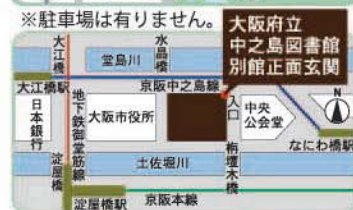
施設概要

明治37年に第15代住友吉左衛門の寄付によって完成し、大正11年に増築することにより現在の形となった大阪府立中之島図書館は昭和49年に国の重要文化財に指定されました。平成25年度より利用者の方がより心地よく過ごせるよう、リニューアル工事を行っています。本を借りる、資料を調べるだけの従来の図書館から、文化を創造・発信する図書館となることを目指しています。

日時 平成27年12月15日(火) 14:30~16:30

定員 40名(申し込み先着順、定員になり次第締め切ります。)

受付 14:00~14:30 (集合場所 大阪府立中之島図書館 別館)



▲大阪府立中之島図書館中央ホール ▲正面玄関
 (撮影者/柄松写真事務所 柄松稔氏)

参加申込書

ご希望欄の□にチェックし、必要事項をご記入のうえ、開催日5日前までにFAXまたはMAILでお申し込みください。(複数可)なお、参加当日本申込書の控えをご持参いただき、受付にご提示ください。

11/24 講演会 阪神・淡路大震災から20年、公共建築の復興 12/15 見学会 大阪府立中之島図書館

氏名				所属		
TEL	FAX		MAIL			
住所	〒					

※ご記入いただきました個人情報情報は慎重に管理し、当イベント以外の目的には使用いたしません。

問い合わせ先▶ 一般社団法人 公共建築協会 近畿地区事務局

〒540-0028 大阪市中央区常盤町 1-2-17 大阪フコク生命ビル 6階

TEL.06-6943-7571 FAX.06-6943-7576 MAIL:kouen@pba.or.jp URL:http://www.pbaweb.jp

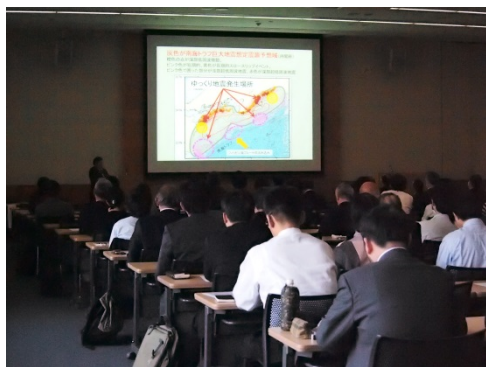
主催・一般社団法人公共建築協会近畿地区事務局

後援・「公共建築の日」及び「公共建築月間」近畿地方協力支援会議

(近畿地方協力支援会議とは、近畿地方整備局、大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県、福井県、大阪市、京都市、神戸市、堺市の営繕担当課長等で構成されている会議です。)

～官庁施設(公共建築)の防災・減災～

平成27年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」イベント報告



「公共建築の日(11月11日)」及び「公共建築月間(11月)」に合わせて、(一社)公共建築協会近畿地区事務局の主催、近畿地方協力支援会議(近畿地整、近畿管内の府県政令市で構成)の後援で、11月24日にイベントを実施しました。

今年のテーマは、阪神・淡路大震災から20年、節目の年に当時を振り返り、官庁施設(公共建築)の復興及びその後の他の地震での状況等を含めた今後の防災・減災の対応について考えるということで、追手門大阪城スクエアにおいて講演会とパネル展を開催しました。

●講演会及びパネル展 日時:平成27年11月24日(火)講演会:14:30～16:30 パネル展:13:00～17:00
場所:追手門大阪城スクエア6階大ホール

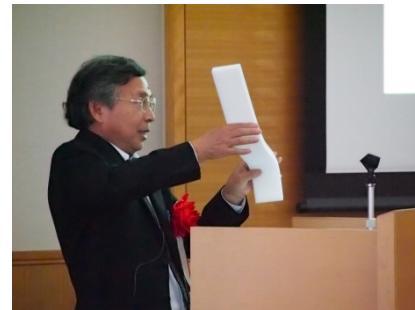
○基調講演 ～阪神・淡路大震災から20年、公共建築の復興～ 講師:京都工芸繊維大学
教授 小坂郁夫氏

○事例紹介 ～神戸地方合同庁舎の被災状況と免震改修～ 講師:株式会社フジタ西日本支社九州支店
工事長 大坪裕和氏

●参加者:107人
官公庁:53人 民間企業等:49人 一般:3人 学生:2人



白川営繕部長の挨拶



小坂郁夫氏



大坪裕和氏

今回は、パネル展も開催しました。内容は、公共建築免震改修工事事例等及び「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクールグランプリ作品展を同時開催。パネル展も盛況の内に終了しました。

パネル展の状況



講演の内容

小坂教授からは、阪神・淡路大震災から20年、節目の年に当時を振り返り、現地調査資料を使って、構造形式別、年代別に被害状況を模型を使い分かりやすく説明していただきました。

また、官庁施設(公共建築)の復興及びその後の他の地震での状況等を含めた防災・減災の状況及び地震のメカニズムについて最新の研究をもとに、スマトラ沖地震、十勝沖地震、三陸はるか沖地震、東北地方太平洋沖地震、東海地震、東南海地震、南海地震を題材に説明していただきました。

大坪工事長からは、神戸地方合同庁舎の免震改修工事について苦労話等を盛り込みながら説明していただきました。地上9階・地下1階・延べ面積15,978㎡に常時1,000人以上が利用する、居ながら工事で、免震装置を既存耐圧盤の下部に設置するという難工事について、兵庫県南部地震で被災した杭頭の補修というあまり事例がない工事を高度な安全管理が要求されたことに触れ、施工中の水平耐力の確保、鉛直変位の計測を厳格に管理を行ったこと等を工事写真と模式図を使いながら判りやすく説明していただきました。

参加者の声

アンケートでは、約93%の方々に「良く理解できた」等の好評をいただきました。外に、回答として、

「20年経った神戸の震災を再認識した。」

「苦労が良く判った。」

「今後の業務に生かせる貴重なお話で良かったと思います。」

「大変良い企画でした。」

「参考になるので、広く広報してほしい。」

「免震改修工事は非常に複雑な工事でありましたが、写真と図面を使用して順序よく説明していただいたのでわかり易かった。」

など、多くの参加者から意見等を頂くことが出来ました。

ご協力ありがとうございました。